




## とっかい ~やさしさをはぐくむ~

## 『家の「ワンコ」・「ニャンコ」』編

協力：  南が丘動物病院

今や空前のペットブーム！ ペットにもいろいろな動物がいますが、今回は最も多く飼われ、家族の一員となっている「犬」・「猫」の性格や行動、病気などについて、少しだけ紹介しますね。



## 犬(ワンコ)編

## 犬・猫と人間の標準年齢換算表

犬・猫	人間	犬・猫	人間
20日	1歳	7年	48歳
100日	5歳	8年	53歳
200日	10歳	9年	58歳
300日	15歳	10年	63歳
1年	18歳	11年	68歳
2年	23歳	12年	73歳
3年	28歳	13年	78歳
4年	33歳	14年	83歳
5年	38歳	15年	88歳
6年	43歳	16年	93歳

注) 犬と猫、または種類により、幾らか違いがあります。

同じ犬種で同じように育てても、甘えん坊だったり、怖がりだったり、性格は「十犬十色」、性格ってどうやって決まるのだろう。



## 犬(ワンコ)のこと、どれだけ知ってる？

- Q1: 「人の口元をぺろぺろとなめるのは？」  
A1: オオカミの頃の名残で、食べ物をねだる行為や、群れの中のリーダーへの服従や謝罪を意味する。
- Q2: 「人の指紋のように、犬の固体識別の紋は？」  
A2: 犬の鼻の表面の細かいシワのような模様は「鼻紋」と呼ばれ、犬それぞれで異なります。
- Q3: 「シャンプーに適したお湯の温度は？」  
A3: 犬は皮膚に汗腺がないため体温調節が苦手です。人の適温より少しぬるめ(35~38℃)にして、お尻からゆっくり全身を濡らしていきます。
- Q4: 「犬は体のどの部位で汗をかくの？」  
A4: 犬は体温調節を行う小汗腺の発達が未熟で、足の裏と鼻の頭くらいしかありません。そのため体温調節が人のようにうまくできず、特に夏の暑さには注意が必要です。
- Q5: 「犬に食べさせてはいけないものは？」  
A5: 犬が食べると中毒症状を起こす場合があるので、下記の食品は特に気をつけましょう。
- (死亡の恐れがある食材)  
チョコレート、たまねぎ、ネギ、ぶどう、にんにく、マカデミアナッツ、アルコール類
- (過剰摂取で危険な食材)  
豚肉、イカ・タコ・スルメ、カフェイン、ソーセージ・ハム・乳製品(人間用)

性格とは、もともと持っている性質に学習がプラスされることで性格になるとのこと。学習は生まれた瞬間から始まり、兄弟との触れ合いやリーダー・飼い主とともに過ごす子犬時代の育てられ方でも性格は変わります。外の情報に振り回されず、何よりも大切なのは犬と向き合うことと飼い主自身がどうありたいのかを明確にすることです。

家(うち)のワンコの気持ちに寄り添って考えていきましょう。

## 犬(ワンコ)の主な病気

### 犬(ワンコ)の風邪〔ケンネルコフ〕

ウイルスは目や鼻、口から犬の体内に侵入し、扁桃、気管、リンパ節などで増殖します。その結果、高い熱や鼻水、咳などの風邪症状が発生し、細菌の二次感染があると重症化します。また、ウイルスが血液を通じて呼吸器以外の臓器にも到達し、全身症状を起こすこともあります。



### 犬(ワンコ)の腸炎

ウイルスは感染犬の排泄物や嘔吐物に接触した犬の口から体内に侵入し、扁桃やリンパ節で増殖します。ついで、ウイルスは骨髄や腸管で増殖し、白血球数の減少や嘔吐、下痢などの重い症状を起こします。

特に犬パルボウイルス感染症では、感染から重症になるまでの期間が短く、死亡率も高いので注意が必要です。



### 犬(ワンコ)のレプトスピラ症

レプトスピラ菌に感染した犬や野生動物、げっ歯類(リス・ネズミ等)などの尿には多量の菌が含まれ、土壌や水溜まりを汚染します。犬は目や鼻、口、傷口などを介しそれらから感染し、肝臓や腎臓に炎症を起こします。重症例では死亡することもあります。

また、レプトスピラ症は代表的な人獣共通感染症で、人にも感染します。



#### ※伝染病の予防

ウイルスによる伝染病の治療は困難で、またレプトスピラ症は犬ばかりでなく人にもうつる恐ろしい病気です。これらの伝染病から愛犬を守るためには、ワクチンによる予防が有効です。ワクチンには病気に対する抵抗力(免疫)に付与する効果があります。※くわしくは獣医師に相談して下さい。

## ～ 体も心もイキイキ・・・散歩で体づくり！ 散歩の質を高めよう ～

散歩は愛犬(ワンコ)にとって、心身ともに健康づくり。正しく歩いて散歩をすれば運動になるので筋力づくり。外の空気を吸いながら歩くのでストレス発散。

散歩は健康を維持するために大切な時間です。



#### 子犬期

子犬の時期は基礎体力と社会化に向けての大事な準備期間です。全身運動やボール遊び、抱っこ散歩などで飼い主とのコミュニケーションを図りましょう。

#### 成長期～成犬期(1歳前半～6歳後半)

前半は正しい姿勢をマスターして後半は新しいことを覚えながら筋力を鍛えましょう。新しい遊びにチャレンジしたり、後ろ足の筋肉を鍛えるトレーニングを加えましょう。

#### シニア犬期

左右差が大きくなる時期、犬の体力に合わせながら散歩を楽しみましょう。散歩を嫌がったら、もしかしたら膝や股関節が痛いのかも。獣医師に診てもらい、問題なければワンコの体力、状態に合わせた散歩メニューを考えましょう。寝たきりにならない体づくりが散歩の目的です。

さあ、うちの  と歩こう！





## 猫(ニャンコ)編

### 『猫』を理解しよう!

以前なら、日本人にとっての「はじめて飼ったペットは？」と聞かれたとき、多くの人が「犬」と答えたでしょう。しかし2008年以降、犬の数は毎年減少し、一方猫は微増という推移をたどり、2017年では日本の猫の飼育頭数が952万頭、犬の892万頭をついに上回りました。

伴侶動物として猫と暮らすには、下記のようにさまざまな方法があります。

- ・ペットショップで購入
- ・ブリーダーから購入
- ・保健所から譲り受ける
- ・動物保護団体から譲り受ける
- ・動物病院から譲り受ける
- ・友人から譲り受ける
- ・野良猫を拾う

※さっきまで野良猫として自力で生活していたのに、いきなり伴侶動物になるとした劇的な環境変化の可能性もあるのも『猫』特有であると思います。

**【まめ知識】** 猫という漢字は動物を表す「けものへん」と「苗」ですが、苗は「みょう」と発音します。「みょう」と鳴く動物ということで『猫』という漢字になったそうです。

### 【猫の品種ランキング(全年齢)】

(アニコム家庭動物白書 2017 より)

①	混血種
②	スコティッシュ・フォールド
③	アメリカンショートヘア
④	日本猫
⑤	マンチカン
⑥	ロシアンブルー
⑦	ノルウェージャンフォレストキャット
⑧	ペルシャ
⑨	メインクーン
⑩	ラグドール

※2017年現在、日本で生活している純血種の猫は17.2%と言われ、増加傾向にあります。

### 【猫の性格】

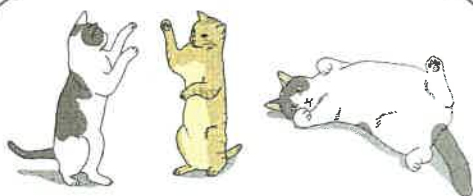
- ・知らない環境にストレスを感じる。
  - ・他の動物(特に犬や知らない人も含む)が近づくことにストレスを感じる。
  - ・嫌な経験はいつまでも覚えている。
- ※猫は、このような傾向が強い動物です。

### 【猫の行動を知ろう】

- ・猫も姿勢やしぐさでコミュニケーションをとっている。
  - ・猫が「距離を縮めたい」ときのサインがある。
  - ・猫が「距離を遠ざけたい」ときのサインを把握すればお互いケガを避けられる。
- ※猫は、さまざまな姿勢を見せることによって他者とのコミュニケーションをとっています。

### 【姿勢による猫のコミュニケーション】

#### 【他の猫を遊びに誘うとき】

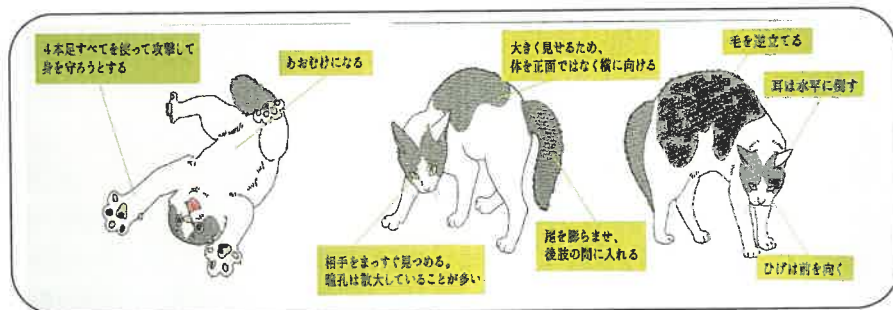


子猫は立ち上がることで、他の猫を遊びに誘う。

猫は他の猫を遊びに誘うときに、仰向けの姿勢をとることがある。

#### 【極度の防御姿勢】

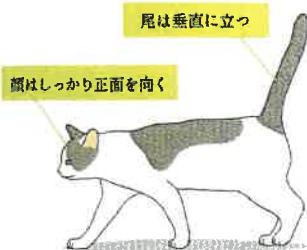
#### 【攻撃的と防御的が混ざったような姿勢】



#### 【友好的に近づくとき】

#### 【友好的なとき】

#### 【遊びの中で距離を縮めたいとき】



尾は垂直に立つ

顔はしっかり正面を向く

尾を垂直に立てるのは、子猫が母猫に肛門や陰部周囲をなめて清潔にもらったときの名残だという説もある。



吻部や顔をすりつけ、それから順に肩～体側部、尾の付け根をすりつける。



尾が頭側に向けて弓なりになる

## 〔猫(ニャンコ)の毛色は遺伝子で決まる〕



- ・猫の毛色はランダム(無作為)に生まれるわけではない。
- ・レッドと黒の毛色を持つ猫は基本的にメスである。
- ・全身ホワイトの猫は両親のどちらかもまた全身ホワイトである。



### 【三毛猫はメスだけか】

ネコは、リビアヤマネコが家畜化されたイエネコに対する通称であり、世界中に広まっていく過程でさまざまな毛色が誕生しました。

黒・白・茶トラ・三毛などの猫がいますが、これらはランダム(無作為)に生まれてくるわけではなく、血液型と同様に遺伝子によって決まっています。

三毛猫というのは性別を決定する染色体(性染色体と言う)が3色(レッド・黒・白)の毛色を持つ猫のことですが、ごく一部の例外を除きメスしかいません。

昔からまれにオスが確認されますが、船乗りが同乗させると「船が沈没しない」との言い伝えから非常に重宝されたとのこと。



## 〔猫(ニャンコ)は、なぜ爪とぎをするの?〕



- ・爪は獲物を捕食したり、自身の縄張りを守るために他の猫と戦うための武器。
- ・自身の存在をアピールするために爪を研ぐ：「マーキング」

※猫はその家の中で最も快適な場所で爪を研ぎます。家具で研いでほしくなければ、家具より素敵な「爪とぎ」を用意することです。

## 〔猫(ニャンコ)がなりやすい病気〕

### 【慢性腎臓病】

- ・猫の慢性腎臓病は、高齢猫が最も罹患しやすい病気の一つです。

※多飲・多尿は腎臓病の最初のサイン(治療が長引く)

### 【甲状腺機能亢進症】

- ・日本での発生率は8.9%と高く、糖尿病と並び猫の2大内分泌疾患です。

※典型的な症状～体重減少、呼吸困難、下痢、多飲・多尿、食欲低下、脱毛、行動の変化、嘔吐

### 【糖尿病】

- ・人でも多い内分泌疾患であるが、人と猫では病態も異なります。

※主な症状～血糖値が高い、尿糖が出ている、多飲・多尿、体重減少

### 【尿路結石症】

(腎結石・尿管結石・膀胱結石・尿道結石)

- ・慢性腎臓病と並び、猫の泌尿器疾患のなかでも最も多い病気です。

### 【猫伝染性腹膜炎】

- ・猫伝染性腹膜炎ウイルスが原因で、最も治療が困難な病気の一つです。

### 【リンパ腫】

- ・悪性腫瘍の中では最も発生率が高く、1000頭あたり1～2頭といわれています。

※タバコを吸う人がいる家庭の猫は、罹患率が2.4倍も高いとの結果があり、タバコを吸われる飼い主の方は愛猫のため禁煙に努めましょう。

※詳しくは獣医師に相談して下さい。

『家(うち)の「ワンコ」・「ニャンコ」』編  
いかがでしたか？ ペットは家族の一員です。  
いつまでも、仲良く付き合いましょう！



### 〔まめ知識〕

猫の顔の特徴である長いヒゲ。  
ヒゲは他の毛に比べて3倍も深く皮膚の下に埋まっています。ヒゲの毛根の周囲には知覚神経が豊富にあって、センサーとして機能しています。よく見てみると鼻のわき、頬、ひたいの3カ所にヒゲが生えていて、顔まわりにセンサーを張り巡らしていますが、実は前肢の内側の親指の少し上あたりに、まわりの毛と異なる太くて長い毛があります。この毛もヒゲと同じようなセンサーなのです。

驚きですね？



現在、完全室内飼育の猫の平均寿命は16歳前後といわれています。昔から伝説で猫は20歳を超えると「猫又」という妖怪になるそうです。皆さんの力で猫をみんな20歳にして妖怪だらけの楽しい世界にしましょう！

(東京猫医療センター 服部 幸氏 著書より)

### ＜発行＞

紋別市教育委員会  
生涯学習課 社会教育係  
〒094-0006  
紋別市潮見町1丁目4番3号  
(市民会館内)  
☎ 24-2416 FAX 23-5603